

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：私立学校振興費

事 業 名 私学団体等補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 私学振興課 私学助成係

電話番号：058-272-1111 (内3033)

E-mail : c11151@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 3,810 千円 (前年度予算額： 4,810 千円)

＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,810	0	0	0	0	0	0	0	4,810
要求額	3,810	0	0	0	0	0	0	0	3,810
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

少子化の影響で生徒数が減少しており、とりわけ学校経営を行う私立学校においては、より魅力ある学校づくりと教職員の資質の向上に努める必要がある。

(2) 事業内容

私立学校教職員の資質の向上及び私立学校の振興を図るため、私学団体が実施する研修事業や広報事業等に対して補助する。

○補助対象事業

- ・研修事業：私学教職員向けの研修事業等に要する経費
- ・広報事業：私学フェアの実施、学校案内パンフレットの作成等に要する経費

(3) 県負担・補助率の考え方

定額補助。

県内私立学校全体の振興に資するため、私学団体等が実施する事業に対し補助することは妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	270	私立幼稚園連合会補助金
	250	私立専修学校各種学校連合会補助金
	90	私立短期大学協会補助金
	90	私立大学協会補助金
	450	岐阜県私学振興会補助金
	180	私立幼稚園P T A連合会補助金
	450	私立専修学校各種学校案内作成事業費補助金
	1,400	個性を伸ばす教育奨励事業費補助金
	270	私学団体連合会補助金
	360	私立幼稚園子育て支援事業費補助金
合計	3,810	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4次岐阜県教育ビジョン

目標15 私立学校教育の振興

私立学校は、建学の精神に基づく特色ある教育活動を行い、学校教育において重要な役割を果たしていることから、県では、私立学校が、特色と魅力があり、多様な学びができる学校づくりに向けて、児童生徒のニーズに応えられるよう支援していく。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金（私立幼稚園連合会補助金）
補助事業者（団体）	一般社団法人岐阜県私立幼稚園連合会 (理由) 私立幼稚園の教職員の資質向上を図るため、私立幼稚園教育研究大会を実施する同団体に対し補助する。
補助事業の概要	(目的) 岐阜県私立幼稚園連合会が実施する「私立幼稚園教育研究大会」に対して補助することにより、私立幼稚園の教職員の資質向上を図る。 (内容) 私立幼稚園教育研究大会として、私立幼稚園の教職員による研究成果の発表と外部講師による講演を実施し、私立幼稚園の教職員に自己啓発の機会を与え資質向上を促進する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例： ） (内容) 270千円 (理由) 例年発生する会場使用料や印刷製本費等の経費金額から算出。
補助効果	県補助事業として事業内容の充実を図り、実施の意義を深めて私立幼稚園の教職員のなお一層の資質向上を図る。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

私立幼稚園の教職員の資質向上に向け、私立幼稚園の教職員による研究成果の発表と外部講師による講演を実施し、私立幼稚園の教職員の資質向上とともに、幼稚園教育の活性化を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する大会事業に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	270	270	270

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 「令和4年度岐阜県私立幼稚園教育研究大会」において永年勤続者の表彰と大学教授による講演会を行い、教職員の資質向上と教育内容の充実を図った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	「令和5年度岐阜県私立幼稚園教育研究大会」において永年勤続者の表彰と大学教授による講演会を行い、教職員の資質向上と教育内容の充実を図った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	「令和6年度岐阜県私立幼稚園教育研究大会」において永年勤続者の表彰と大学教授による講演会を行い、教職員の資質向上と教育内容の充実を図った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)	
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	県内の幼稚園児の約8割が在園する私立幼稚園において、将来を担う幼児の健全な発達と育成が必要とされる中、幼児教育の充実と振興が求められる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 3	幼児教育の充実のためには、幼稚園教職員の資質の向上が必要不可欠であるため。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	「令和6年度岐阜県私立幼稚園教育研究大会」は多くの関係者が出席する中で開催しているため、十分に目的を果たすことができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
全県的に地域子育て環境を向上させるためには、県内の幼稚園児の約8割が在園する私立幼稚園の教職員の資質向上が必要であり、幼稚園教育のさらなる活性化が求められる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
県内の私立幼稚園は、本県の幼児教育において非常に大きな役割を担っており、また、岐阜県私立幼稚園連合会が実施する教職員の資質向上事業の充実については、その事業趣旨と連合会の運営努力を鑑みて、幼稚園教育の質の向上のため、継続して支援を行う。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金（私立専修学校各種学校連合会補助金）
補助事業者（団体）	岐阜県専修学校各種学校連合会 (理由) 私立専修学校、各種学校の教職員の資質向上を図るために、県内唯一の私立専修・各種学校団体である同団体に対し補助する。
補助事業の概要	(目的) 岐阜県専修学校各種学校連合会が実施する研修事業等に対して補助することにより、私立専修学校・各種学校の教職員の資質向上を図る。 (内容) 情報処理、洋裁、教養、珠算などの専門分野別に設けられた部会ごとに、外部講師による研修会を実施し、私立専修学校、各種学校の教職員に自己啓発の機会を与え、資質向上を促進する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：） (内容) 250千円 (理由) 旅費等、研修事業実施に必要な経費金額から算出。
補助効果	専門的知識を持った職業人の育成、生涯学習機会の増加等から専修学校等の果たす役割は増加すると考えられるため、県補助事業として事業内容の充実を図り、実施の意義を深めて私立専修学校各種学校の教職員のなお一層の資質向上を図る。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 私立専修学校・各種学校の教職員の資質向上に向け、研修事業等を実施し、私立専修学校・各種学校の教職員に自己啓発の機会を与えるとともに、私立専修学校・各種学校教育の活性化を図る。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する研修事業等に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度 158	R5年度 250	R6年度 250
--------------------	-------------	-------------	-------------

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 新型コロナウイルス感染拡大の影響で事業中止。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	中部七県ブロック協議会定期大会において、当連合会参加の中部七県の会員が専修学校各種学校の発展と社会的地位の向上に努めるべく、教育振興に寄与すること等の相互の理解と連携を図った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	中部七県ブロック協議会定期大会において、当連合会参加の中部七県の会員が専修学校各種学校の発展と社会的地位の向上に努めるべく、教育振興に寄与すること等の相互の理解と連携を図った。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	専門的知識を持った職業人の育成が求められる中で、専修学校等の果たす役割は増加すると考えられるため、社会の多様なニーズに適応できる魅力的な教育を行うべく教職員の資質向上とともに私立専修学校・各種学校教育の活性化が求められる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	本定期大会では、主に協議会、講演会、懇親会の3つが開催され、現状と課題について会員で交流ができるため、教職員の一層の資質向上と私学教育の振興が図られている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	中部地方の七県が一堂に会し、専修学校各種学校の発展や教育振興等の共通の目的を共有し交流するため、目的を達成しているといえる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

専門的知識を持った職業人育成のニーズの高まりにより、専修学校等の果たす役割は増加すると考えられるため、事業内容を充実させ、実施の意義を深めることで、教職員の一層の資質向上を図ることが求められる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

教職員の一層の資質向上を図り、私立専修学校・各種学校教育の活性化を促進するため、継続して必要な支援を行う。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金（私立短期大学協会補助金）
補助事業者（団体）	岐阜県私立短期大学協会 (理由) 私立短期大学の教職員の資質向上を図るため、県内唯一の私立短期大学団体である同団体に対し補助する。
補助事業の概要	(目的) 岐阜県私立短期大学協会が実施する研修事業等に対して補助することにより私立短期大学の教職員の資質向上を図る。 (内容) 体育、教務、事務及び厚生補導などの研修を実施し、私立短期大学の教職員に自己啓発の機会を与え、資質向上を促進する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：） (内容) 90千円 (理由) 講師謝金等の研修事業実施に要する経費金額から算出。
補助効果	県補助事業として事業内容の充実を図り、実施の意義を深めて私立短期大学の教職員のなお一層の資質向上を図る。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

学術研究の進展や専門職業志向への対応に向け、私立短期大学の教職員に自己啓発の機会を与え、資質向上を促進するとともに、私立短期大学の相互の提携協力や活性化を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する研修事業等に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	90	90	90

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>補助を行った研修事業では、短期大学生に関する成人年齢引き上げをテーマとする講演会や情報交流会を開き、私立短期大学の教職員の資質向上とともに私立短期大学の相互の提携協力や活性化に寄与した。</p>
令和5年度	<p>指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %</p> <p>補助を行った研修事業では、学生のこころの健康をテーマとする講演会や情報交流会を開き、私立短期大学の教職員の資質向上とともに私立短期大学の相互の提携協力や活性化に寄与した。</p>
令和6年度	<p>指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %</p> <p>補助を行った研修事業では、学生との接し方や価値観をテーマとする講演会や情報交流会を開き、私立短期大学の教職員の資質向上とともに私立短期大学の相互の提携協力や活性化に寄与した。</p>
	<p>指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %</p>

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 2	学術研究の進展や専門職業志向への対応が求められる中、私立短期大学の教職員の資質向上とともに私立短期大学の相互の提携協力や活性化が求められる。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3 : 期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2 : 期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1 : 期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0 : ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	研修を通じて、私立短期大学の教職員に自己啓発の機会を与え、資質向上を促進している。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 1	岐阜県私立短期大学協会が自ら研修事業を実施することで、実情に応じた事業を実施することができ、効率的・効果的に事業促進が図ることができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

学術研究の進展や専門職業志向に対応に向け、教育研究等の充実を図るために、研修事業を通じ私立短期大学の教職員の一層の資質向上を図る必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

私立短期大学の教職員の一層の資質向上を図り、私立短期大学教育の活性化を促進し、社会の多様なニーズに適応できる魅力的な教育を行うことのできる環境を整備するため、継続して必要な支援を行う。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
■ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金（私立大学協会補助金）
補助事業者（団体）	岐阜県私立大学協会 (理由) 私立大学の教職員の資質向上を図るため、県内唯一の私立大学団体に対し補助する。
補助事業の概要	(目的) 岐阜県私立大学協会が実施する研修事業等に対して補助することにより私立大学の教職員の資質向上を図る。 (内容) 先進的な教育・文化事情の視察研修を実施し、私立大学の教職員に自己啓発の機会を与え、資質向上を促進する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例： ） (内容) 90千円 (理由) 講師謝金等の研修事業等に要する経費金額から算出。
補助効果	県補助事業として事業内容の充実を図り、実施の意義を深めて私立大学の教職員のなお一層の資質向上を図る。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 学術研究の進展や専門職業志向への対応に向け、私立大学の教職員に自己啓発の機会を与え、資質向上を促進するとともに、私立大学の相互の提携協力や活性化を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する事業に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	90	90	54

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 補助を行った研修事業では、近年の学生の就職状況について取り上げ、課題と解決のための方法を検討した。私立大学の連携協力により、私立大学の教職員の資質向上とともに私立大学の相互の提携協力や活性化に寄与した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	補助を行った研修事業では、看護職の養成を取り上げ、課題と解決のための方法を検討した。私立大学の連携協力により、私立大学の教職員の資質向上とともに私立大学の相互の提携協力や活性化に寄与した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	補助を行った研修事業では、内部質保証について取り上げ、教育や研究活動の質を向上させるための方法を検討した。私立大学の連携協力により、私立大学の教職員の資質向上とともに私立大学の相互の提携協力や活性化に寄与した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)	
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	学術研究の進展や専門職業志向への対応が求められる中、私立大学の教職員の資質向上とともに私立大学の相互の提携協力や活性化が求められる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	研修を通じて、私立大学の教職員に自己啓発の機会を与え、資質向上を促進している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	岐阜県私立大学協会が自ら研修事業を実施することで、実情に応じた事業を実施することができ、効率的・効果的に事業促進が図ることができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
学術研究の進展や専門職業志向への対応に向け、私立大学の教職員に自己啓発の機会を与え、資質向上を促進するとともに、私立短期大学の相互の提携協力や活性化を図る必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
私立大学教職員のなお一層の資質向上を図り、私立大学教育の活性化を促進し、社会の多様なニーズに適応できる魅力的な教育を行うことができる環境を整備するため、継続して支援する。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金（岐阜県私学振興会補助金）
補助事業者（団体）	岐阜県私学振興会 (理由) 私立小・中・高等学校の教職員の資質向上を図るために、県内私立小中高校を構成員とする県内唯一の私学振興団体である同団体に対し補助する。
補助事業の概要	(目的) 私立小学校、中学校及び高等学校の教職員に自己啓発の機会を与え、資質向上を図るとともに、県内私立高校の魅力を県外においても知ってもらい県内私学への進学を促す。 (内容) 教職員の自己啓発に向け、進路指導、生徒指導及び教務の分野別に、他県の優良私立学校の調査を実施するとともに、県内私学への進学を促すため、県外中学校向けの私立高校ガイドブックを作成し、通学可能圏内の県外中学校に配布する事業に補助を行う。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例： ） (内容) 450千円 (理由) 旅費、印刷製本費等の研修事業やガイドブック作成事業に要する経費金額から算出。
補助効果	県補助事業として事業内容の充実を図り、実施の意義を深めて私立小、中、高等学校の教職員のなお一層の資質向上を図るとともに、県内私立高校の魅力を県外においても知ってもらい県内私学への進学促進を図る。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 調査、研修事業及び県内私学の広報活動へ助成をすることにより、私立小学校、中学校及び高等学校の教職員の資質向上及び県内私立高校の魅力を県外に周知することによる県内私学への進学の促進を図る。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する事業に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	450	450	450

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 <p>「岐阜県の私立高校ガイドブック」と「岐阜県私立高校生徒募集要項」を作成・配布し、県内私立高校の魅力発信をおこない、県内外からの入学を促進した。少子化による生徒数の減少を受け、特に県内国公立中学3年生に全員配布することで、生徒数の増加を図った。また、私立学校の教職員を対象に県外の優良私立高校の調査を企画し、自己啓発の機会を与えるとともに資質向上に寄与した。</p>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	<p>「岐阜県の私立高校ガイドブック」と「岐阜県私立高校生徒募集要項」を作成・配布し、県内私立高校の魅力発信をおこない、県内外からの入学を促進した。また、私立学校の教職員を対象に県外の優良私立高校の調査を企画し、自己啓発の機会を与えるとともに資質向上に寄与した。</p>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	<p>「岐阜県の私立高校ガイドブック」と「岐阜県私立高校生徒募集要項」を作成・配布し、県内私立高校を広くPRし、県内外からの入学を促進した。また、私立学校の教職員を対象に県外の優良私立高校の調査を企画し、自己啓発の機会を与えるとともに資質向上に寄与した。</p>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	私立学校が魅力的で特色ある教育を展開することが必要とされる中、教職員の教育意欲の高揚と指導の充実が求められるとともに、少子化に伴う生徒減少対策として県内外の生徒の獲得のため、岐阜県の私立高校の積極的な広報活動が必要とされる。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <p>3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）</p>	
(評価) 2	ガイドブックを作成し、県内外に対して広報活動を行うことで、県内私立高校の振興につながっている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	岐阜県私学振興会が自ら研修事業を実施することで、県内私立学校の実情に応じた事業を実施することができ、効率的・効果的に事業促進が図ることができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>私立学校が魅力的で、特色ある教育を展開することがこれまで以上に求められている中、教職員の教育意欲の高揚と教育指導の充実が求められる。</p> <p>また少子化に伴う生徒減少対策として、岐阜県の私立高校の魅力や良さを十分知つてもらい、県外からも多くの生徒に来てもらう広報事業の促進も求められる。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>私立小中高等学校の教職員の資質向上とともに私立学校教育の活性化を促進することで、社会の多様なニーズに適応できる魅力的な教育を行える環境を整備し、県内私立学校の魅力を広く周知するため、継続して必要な支援を行う。</p>

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金（私立幼稚園PTA連合会補助金）
補助事業者（団体）	岐阜県私立幼稚園PTA連合会 (理由) 私立幼稚園PTA会員等の資質向上を図るため、県内唯一の私立幼稚園PTA団体に対し補助する。
補助事業の概要	(目的) 幼児期における家庭教育の重視が求められる中、岐阜県私立幼稚園PTA連合会が実施する「PTA指導者研修会」に対して補助することにより、私立幼稚園PTA会員等の資質の向上を図る。 (内容) PTA指導者研修会として、私立幼稚園PTA会員等による研究成果の発表と外部講師による講演を実施し、私立幼稚園PTA会員等に自己啓発の機会を与え資質向上を促進する。
補助率・補助単価等	<u>定額</u> ・定率・その他（例：） (内容) 180千円 (理由) 会場借上料等のPTA指導者研修会に要する経費金額から算出。
補助効果	県補助事業として事業内容の充実を図り、実施の意義を深めて保護者の資質向上を図る。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 幼稚園と家庭が連携した幼児教育の充実に向け、私立幼稚園PTA会員等のなお一層の資質向上を目的とした研修事業や私立幼稚園PTA相互の交流を通じ、幼児教育の活性化を図る。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する研修事業等に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	180	180	180

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 「岐阜県私立幼稚園PTA連合会振興大会並びに指導者研修会」を開催し、各加盟園のPTA役員と園長が情操教育の在り方や子どもの問題について交流をおこない、幼児教育の充実と発展に寄与した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	「岐阜県私立幼稚園PTA連合会振興大会並びに指導者研修会」を開催し、各加盟園のPTA役員と園長が参加し、幼児期における家庭教育の在り方について考えることで、幼児教育の充実と発展に寄与した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	「岐阜県私立幼稚園PTA連合会振興大会並びに指導者研修会」を開催し、各加盟園のPTA役員と園長が参加し、幼児期における家庭教育の在り方について考えることで、幼児教育の充実と発展に寄与した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)	
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	幼児期における家庭教育の充実が求められる中、研修事業を通じたPTA会員等一層の資質向上を図り幼稚園と家庭が連携して幼児教育の充実を図ることが必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	研修事業を通じて、私立幼稚園PTA相互の交流を促進するなど、幼児教育の活性化に寄与している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	岐阜県私立幼稚園PTA連合会が自ら研修事業を実施することで、実情に応じた事業を実施することができ、効率的・効果的に事業促進が図ることができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
幼児教育の活性化を図るためにには、私立幼稚園PTA会員等のなお一層の資質向上とともに、幼稚園と家庭の連携を促進する必要があり、研修事業を通じて、私立幼稚園PTA相互の連携の向上、私立幼稚園の教育振興が求められる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
PTA会員等のなお一層の資質向上、私立幼稚園PTA相互の交流の促進を通じ、幼稚園と家庭が連携して幼児教育を活性化させ、地域全体で子育てを支える環境を整備するため、継続して支援を行う。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金 (私立専修学校各種学校案内作成事業費補助金)
補助事業者(団体)	岐阜県専修学校各種学校連合会 (理由) 中学校、高等学校への専修・各種学校に関する情報提供の充実を図るため、県内唯一の私立専修・各種学校団体である同団体に対し補助する。
補助事業の概要	(目的) 岐阜県専修学校各種学校連合会が行う学校案内作成事業に対して補助することにより、中学校、高等学校への私立専修学校、各種学校に関する情報提供の充実を図る。 (内容) 中学校、高等学校等への私立専修学校、各種学校の教育内容に関する正確な情報を提供することを目的とする学校案内の作成事業に対し補助を行う。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他(例:) (内容) 450千円 (理由) 学校案内作成事業に要する印刷製本費等の経費金額から算出。
補助効果	学校案内の作成を通じ中学校、高等学校等へ私立専修学校、各種学校の教育内容に関する正確な情報を提供することにより、県内私立専修学校、各種学校の振興及び教育の活性化を図り、専門的知識を持った職業人を育てる環境を整備することができる。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 県内私立専修学校、各種学校の振興及び教育の活性化に向け、案内作成事業を通じ広報を充実させ、専門的知識を持った職業人を育てる環境の整備を促進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する研修事業等に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位:千円)	R4年度 450	R5年度 450	R6年度 450
--------------------	-------------	-------------	-------------

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 <p>専修学校・各種学校の概要を記載した「学校案内2023」を作成し、県内、他県の中学校・高等学校や教育関係機関に配布した。学生の多様な進路選択の資料となり、私立専修学校・各種学校に対する正しい理解を深められることから私立専修・各種学校の振興を図っている。</p>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 <p>専修学校・各種学校の概要を記載した「学校案内2024」を作成し、県内、他県の中学校・高等学校や教育関係機関に配布した。学生の多様な進路選択の資料となり、私立専修学校・各種学校に対する正しい理解を深められることから私立専修・各種学校の振興を図っている。</p>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 <p>専修学校・各種学校の概要を記載した「学校案内2025」を作成し、県内、他県の中学校・高等学校や教育関係機関に配布した。学生の多様な進路選択の資料となり、私立専修学校・各種学校に対する正しい理解を深められることから私立専修・各種学校の振興を図っている。</p>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	専門的知識を持った職業人の育成が求められる社会情勢で、専修学校等の果たす役割が大きくなるなかで、学校案内の作成等の広報活動を充実させることで、専門的知識を持った職業人を目指す人材確保へと繋げることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <p>3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）</p>	
(評価) 2	案内作成等広報事業の充実を通じて、私立専修・各種学校の振興のみならず、社会的に求められる専門的知識を持った職業人を目指す人材の確保にもつながっている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	岐阜県専修学校各種学校連合会が自ら研修事業を実施することで、実情に応じた事業を実施することができ、効率的・効果的に事業促進が図ることができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>中学校、高等学校に対して、私立専修学校・各種学校に関する充実した情報提供を行い、県内私立専修学校・各種学校の振興及び教育の活性化を促進するとともに、社会的に必要とされている専門的知識を持った職業人の育成の促進が求められる。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>私立専修・各種学校の振興、社会的に求められる専門的知識を持った職業人を目指す人材の確保に向けて広報の充実を図るため、必要な支援を行う。</p>
--

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金（個性を伸ばす教育奨励事業費補助金）
補助事業者（団体）	岐阜県専修学校各種学校連合会 (理由) 私立専修学校がそれぞれの特性を發揮し、個性を伸ばす教育の充実を図るため、私立専修各種学校及びその設置者を構成員とする県内唯一の団体である同団体に対し、補助する。
補助事業の概要	(目的) 岐阜県専修学校各種学校連合会が行う「専門学校フェア(カレッジエキスポ)」に対して補助することにより、私立専修学校の生徒の個性を伸ばす教育の充実を図るとともに、専修学校の積極的な広報活動を展開する。 (内容) 学習意欲の高揚と県民の私立専修学校に対する理解促進を図るべく実施する専門学校フェアに補助を行う。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例： ） (内容) 1,400千円 (理由) 専修学校の広報活動を行うのに要する企画運営費等の経費金額から算出。
補助効果	岐阜県専修学校各種学校連合会が行う「専門学校フェア(カレッジエキスポ)」に対して補助することにより、私立専修学校の生徒の個性を伸ばす教育の充実を図るとともに、専修学校の積極的な広報活動を行い、各人の資質や能力の優れた面を伸ばす個性化教育への推進を図る。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 各学校の特性や魅力を出すとともに、生徒の学習意欲の高める場として専門学校フェアを開催し、個性化教育推進の重要な手段として充実させ、生徒の学習意欲の高揚とともに、私立専修学校に対する県民の理解促進を図る。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する広報事業等に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	1,302	1,400	1,400

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 岐阜県専門学校フェア「カレッジエキスポ2023」を新型コロナウイルス感染症への対策として規模を縮小して開催。各専門学校の学生の作品及び研究成果の展示を動画にして各校のホームページを通して情報発信し、学生ひとりひとりの個性を尊重しつつ、県内私立専門学校の魅力発信をおこなった。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	岐阜県専門学校フェア「カレッジエキスポ2024」を開催した。各専門学校の学生の作品及び研究成果の展示を来場した高校生等に情報発信し、学生ひとりひとりの個性を尊重しつつ、県内私立専門学校の魅力発信をおこなった。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	岐阜県専門学校フェア「カレッジエキスポ2025」を開催した。学生の個性ある作品及び研究成果の展示や発表、職業体験を通じた情報提供を行い、県内私立専門学校の魅力発信をおこなった。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)	
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	専門的知識、技術を持った職業人の育成が求められる中、私立専修学校においては各人の資質や能力の優れた面を伸ばす個性化教育を推進するとともに、生徒の学習意欲の高揚を図り、社会のニーズに即応した職業人の育成が必要とされる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	専門学校各種学校フェアとして、私立専修学校生徒の作品展、研究発表等を実施することにより、生徒の学習意欲の高揚と県民の私立専修学校に対する理解促進が図られ、私立専修学校の振興及び職業人の育成を促進している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	岐阜県専修学校各種学校連合会が自ら広報事業等を実施することで、実情に応じた事業を実施することができ、効率的・効果的に事業促進を図ることができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
実施場所、内容等をより工夫し、各学校の特性や魅力を出すとともに、生徒の学習意欲の高める場として本事業の定着化を図り、個性化教育推進の重要な手段として充実させ、生徒の学習意欲の高揚を図る必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
生徒の学習意欲の高揚と県民の私立専修学校に対する理解促進を図り、私立専修学校の振興、及び職業人の育成を促進するため、必要な支援を行う。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金（岐阜県私学団体連合会補助金）
補助事業者（団体）	岐阜県私学団体連合会 (理由) 私学団体間での情報交換、共通課題の調査・研究を促進し私学全体のレベルアップを図るため、私学関係団体を構成員とする県内唯一の団体である同団体に対し補助する。
補助事業の概要	(目的) 私学関係5団体（私立幼稚園連合会、私立中学高等学校協会、専修学校・各種学校連合会、私立短期大学協会、私立大学協会）が、連携協力して岐阜県の私立学校教育の振興を図り、教育発展に資することを目的に設立した岐阜県私学団体連合会が実施する会員の資質向上のための研修事業等に要する経費の一部を補助する。 (内容) 私学団体連合会が実施する研修事業や調査研究事業費の一部補助を行う。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例： ） (内容) 270千円 (理由) 私学団体が行う教職員等の研修事業等に要する会場借上料等の経費金額から算出。
補助効果	私学団体間の連携強化、会員の資質向上等により、私学教育の充実発展が図られ、本県の私学教育の振興に資することができる。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

私学教職員の資質の向上及び私立学校の振興を図るため、私学団体等が実施する研修事業や広報事業等に対して助成する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する事業に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	270	270	270

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 岐阜県私立学校教育功労者知事表彰及び感謝状授与等を行い、文化の発展と社会への貢献を図った。また、岐阜県私学振興大会において、私学教育環境の充実整備と保護者の負担軽減のための決議文を採択した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	岐阜県私立学校教育功労者知事表彰及び感謝状授与等を行い、文化の発展と社会への貢献を図った。また、岐阜県私学振興大会において、私学教育環境の充実整備と保護者の負担軽減のための決議文を採択した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	岐阜県私立学校教育功労者知事表彰及び感謝状授与等を行い、文化の発展と社会への貢献を図った。また、岐阜県私学振興大会において、私学教育の振興・発展と保護者の負担軽減のための決議文を採択した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)	
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	少子化時代において、県内私学全体のレベルアップを図り他県との競争力を高めることが求められる中、加盟団体間での情報交換、共通課題の調査・研究等を行うことで県内私学教育の充実発展及び本県の私学教育の振興が必要とされている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	私学団体連合会が実施する事業を通じて、私学団体間の連携強化、会員の資質向上等が図られ、私学教育の充実発展が図られ、本県の私学教育の振興に資している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	岐阜県私学団体連合会が自ら広報事業等を実施することで、実情に応じた事業を実施することができ、効率的・効果的に事業促進が図ることができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項	
少子化時代における学校の経営、教職員の資質向上のため、加盟団体間での情報交換、共通課題の調査・研究や私学振興のために必要な諸活動等を行い、私学全体のレベルアップを図り他県との競争力を高めることが求められる。	

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか	
少子化時代における学校の経営のために県内私学全体のレベルアップを図り、他県との競争力を高めるため、継続して効果的な活動を実施するため、必要な支援を行う。	

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私学団体補助金（私立幼稚園子育て支援事業費補助金）
補助事業者（団体）	一般社団法人岐阜県私立幼稚園連合会 (理由) 子育てに悩む若い保護者を支援し、幼児が健全に育つ環境づくりを支援するため、子育てフォーラム等の子育て支援事業を実施する同団体に対し補助する。
補助事業の概要	(目的) 子育てに悩む若い保護者を支援し、幼児が健全に育つ環境づくりを支援するため、岐阜県私立幼稚園連合会が行なう「子育てフォーラム等」の子育て支援事業の内容充実を図るために助成する。 (内容) 岐阜県私立幼稚園連合会が実施する「子育てフォーラム」開催経費の一部を補助し、保護者の子育て不安の解消と私立幼稚園の機能、役割を県民に周知させる。
補助率・補助単価等	<u>定額・定率・その他（例：）</u> (内容) 360千円 (理由) 子育てフォーラム開催に要する会場借上料等の経費金額から算出。
補助効果	岐阜県私立幼稚園連合会が実施する「子育てフォーラム」開催経費の一部を補助することで、保護者の子育て不安の解消と私立幼稚園の機能、役割を県民に周知させることができる。
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 終期到来時の達成状況や事業運営状況等を踏まえて、その後の方針を検討する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか
子育て相談・子育て情報を積極的に提供し、保護者を含めた地域の人たちの教育参加を促し、幼稚園・家庭・地域の連携により、子どもを安心して産み育てていける環境づくりを支援し、地域全体で子育てを支える体制づくりを促進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

団体が実施する事業に対しての補助であるため、指標設定になじまない。

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	360	360	360

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 子育てに直面している保護者とともに、「子どもの育つ望ましい環境づくり」について考える「令和4年度子育てフォーラム」を8地区で開催。講演冊子を制作して共有を行い、幼児教育の発展に寄与した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	子育てに直面している保護者とともに、「子どもの育つ望ましい環境づくり」について考える「令和5年度子育てフォーラム」を8地区で開催。講演冊子を制作して共有を行い、幼児教育の発展に寄与した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	子育てに直面している保護者とともに、「子どもの育つ望ましい環境づくり」について考える「令和6年度子育てフォーラム」を8地区で開催。講演冊子を制作して共有を行い、幼児教育の発展に寄与した。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	核家族化や女性の社会進出、家庭と地域との連携の希薄化などなど時代の変化に伴い、育児不安が深刻化している。そのため、幼児が健全に育つ環境づくりを支援する必要があり、保護者を含めた地域の人たちの教育参加を促し、幼稚園・家庭・地域の連携により、子どもを安心して産み育てていける環境整備が必要とされている。
-----------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり）

2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成）

1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%）

0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）

(評価) 2	子育て相談・子育て情報を積極的に提供し、保護者の子育て不安の解消と私立幼稚園の機能、役割を県民に周知させることができ、地域全体で子育てを支える体制づくりに資している。
-----------	---

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 1	岐阜県私立幼稚園連合会が自ら研修事業や広報事業等を実施することで、実情に応じた事業を実施することができ、効率的・効果的に事業促進が図ることができる。
-----------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

子育てフォーラムなどの「子育て支援事業」への助成を継続し、子育て相談・子育て情報を積極的に提供し、保護者を含めた地域の人たちの教育参加を促し、幼稚園・家庭・地域の連携により、子供を安心して産み育てができる環境づくりを支援する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

地域の子育て力、教育力の向上を図り地域全体で子育てを支える体制づくりを促進するため継続して効果的な活動を実施するため必要な支援を行う。